

多面的機能支払交付金に係る研修会2022-2023



水田におけるジャンボタニシ 対策について

ジャンボタニシ＝スクミリンゴガイ

卵は水面に落とせばOKは、根拠なし。
きちんと回収を！

兵庫県立人と自然の博物館
兵庫県立大学自然・環境科学研究所
三橋 弘宗

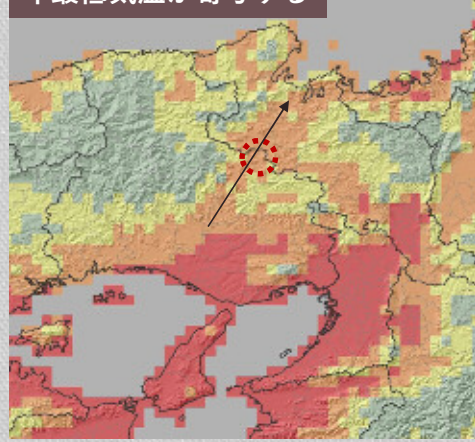
農家が困ってるターゲットはこちら



ジャンボタニシの農業被害



年最低気温が寄与する



日本海側に広がる⇒100haの水田で被害想定
(福知山市約1100ha、丹波市約100ha)
1haあたり被害を50万円/年と想定

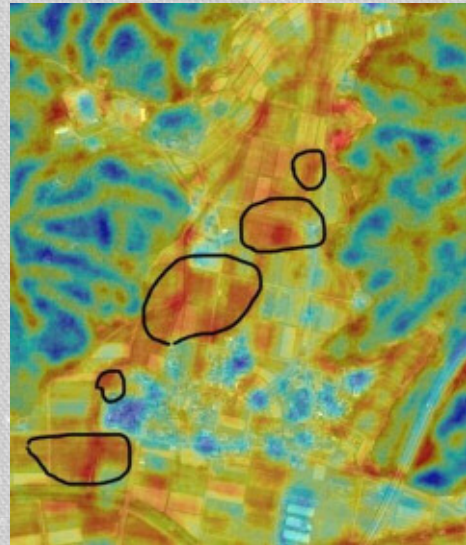
約5億円の被害が毎年続く

ジャンボタニシの農業被害



被害は主に田植え後に起こる
被害は、主に窪地や端っこで起こる

ジャンボタニシが好む場所



端っこにある「よみぞ」や
窪み、畦の境界、湧き水

ジャンボタニシ対策：冬季の耕うん



1月～2月に、約6cm程度まで耕すこと
ゆっくりと耕うんすることで、1回で約7割程度の貝が死亡

ジャンボタニシ対策：冬季の耕うん



貝が秋から冬に多いのは
水田の端の方

IDECK社 クイックティラーelex（加西市）



草刈り機に付く小型の
耕うんアタッチメントにて
対応すると良い

ジャンボタニシ対策：薬剤



スグミンベイト3
三井化学アグロ

水生生物に影響が少ない
殺貝・食害防止のダブルの効果

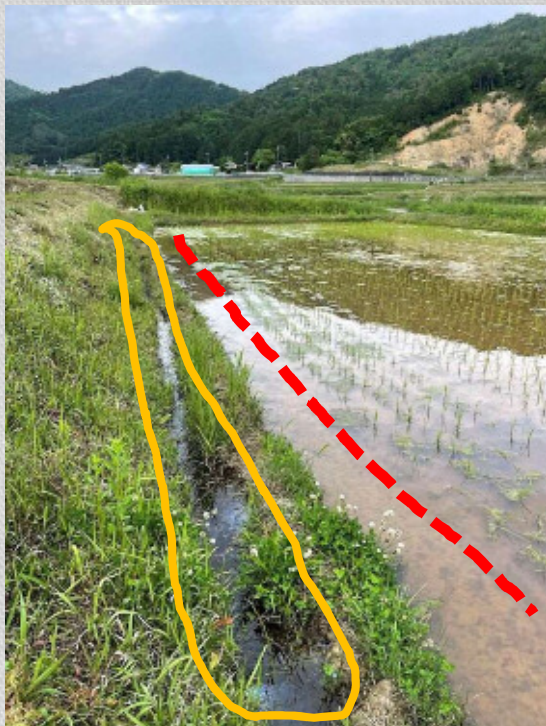
形状：顆粒状

成分：燐酸第二鉄水和物3.0 %

特徴：有機JAS対応

使用時期・使用回数
の制限なし

ジャンボタニシ対策：薬剤のケチり方



畦板を入れるか、
端に寄せてから、
薬剤を投入すると効果的

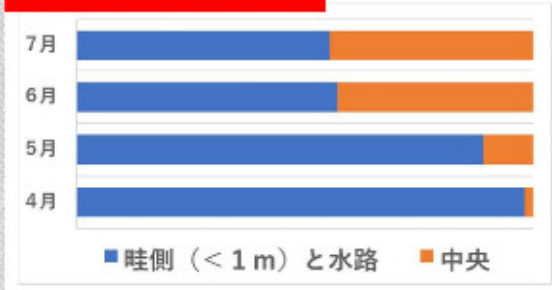
丹波市での取り組み

ジャンボタニシ対策：寄せる

寄せて捕る！



大半が畦よりにいる



中干しで溝切が効果的



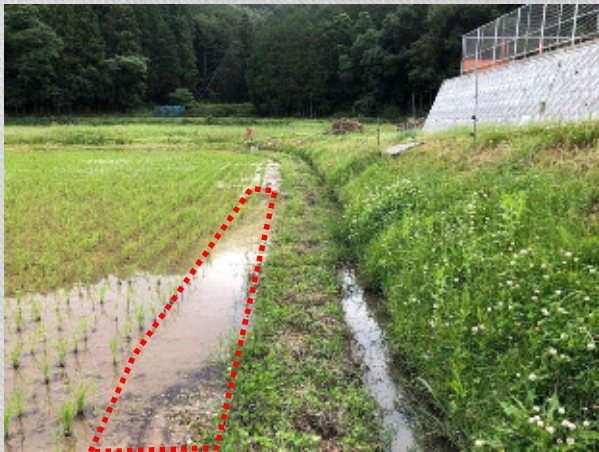
ジャンボタニシ対策：端っこに留める



深水管理は厳禁 → 5月～中干しまで、できるだけ水位を浅くする
「ひよせ」などの端っこの溝から外へ出さない。
端っこで出来るだけ駆除する

ジャンボタニシ対策：協働と処分方法

地域で協力してもらう努力



端っこを開ける
⇒作業しやすい



地区公民館に共用冷凍庫
(丹波市環境審議会の謝金でメルカリで買う)

ジャンボタニシの事例

捕獲数 CPUE (成貝)



高密度だった14枚の水田を対象
⇒徹底して捕獲するとちゃんと減少

とっておきの方法と課題



- 栽培品目の変更
- 田植えの時期をかなり遅くする



駆除用の薬剤スプレーの開発が求められる。
火炎バーナーで焼けば防除は容易にできる。

まとめ

- 水田の端っこや用水路に多い。ここを駆除しないと減らない。
- 複数の駆除技術を用意しておくことが必要。特に簡単にできるように技術の簡素が大切。
- 処分を容易にしておくこと
- 特別栽培米の箇所では駆除のハードルが高い
- 地図として発生状況を抑えて面的に処理する